

# 環境経営レポート

活動期間 2020年4月～2021年3月

作成日 2021年6月1日



®環境省

エコアクション21

認証番号 0012052

株式会社亀田清掃

## 目 次

1. 組織の概要	1
対象範囲	1
組織図	2
環境経営実行組織の役割、責任及び権限	2
2. 環境経営方針	4
3. 事業の概要	5
許可内容	5
処理能力	6
処理工程図	8
処理実績	10
4. 環境経営目標	12
5. 中期環境経営目標	13
6. 環境活動 取組の評価	14
7. 取組の結果と次年度取組	15
8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	15
9. マネジメントレビューの結果	15

## 1. 組織の概要

事業所名 株式会社亀田清掃  
 代表者 代表取締役 池田 善徳  
 所在地 函館市赤川町90番地の4  
 設立年月日 昭和46年9月3日  
 資本金 1,008万円  
 従業員数 104名  
 売上高 106,173万円(うち対象範囲売上高80,113万円)  
 (2021年3月期)

建物敷地 本社 建物 495m<sup>2</sup> 敷地 8,418m<sup>2</sup>  
 函館汚泥脱水処理センター 建物 759m<sup>2</sup> 敷地 46,385m<sup>2</sup>  
 亀田清掃リサイクルセンター 建物 663m<sup>2</sup> 敷地 9,780m<sup>2</sup>

## 【対象範囲】

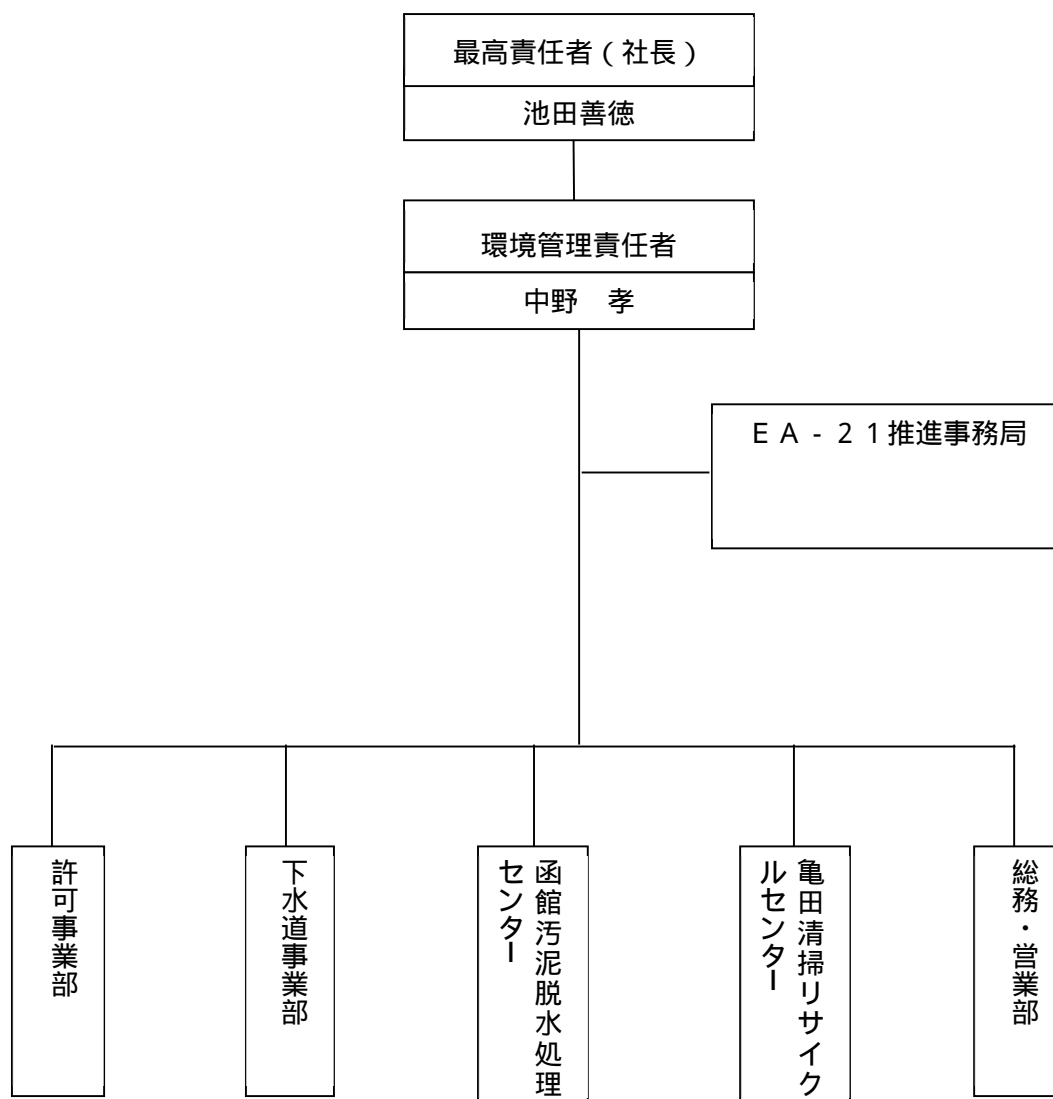
事業所	住 所	従業員数
本社	函館市赤川町90番地の4	43名
函館汚泥脱水処理センター	函館市東山町121番地の5	2名
亀田清掃リサイクルセンター	函館市東山町121番地20	14名

## 【対象活動の内容】

詳細内容
一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業 産業廃棄物中間処理業 浄化槽清掃並びに維持管理業務 下水道管洗浄作業 管渠止水更生工事業務

環境管理責任者 中野 孝(取締役施設管理部長)  
 担当者 古館 ひで子  
 連絡先 Tel (0138)46-3263 Fax (0138)47-5689

組織図



各部署に環境推進委員(部署長)を置く

環境経営実行組織の役割、責任及び権限

(1) 社長（代表者）の役割

環境経営方針を決定する。

環境管理責任者を任命し、他の責任にかかわりなく環境マネジメントシステムの確立、実施と維持並びに見直し、改善の基礎として環境マネジメントシステムの実績報告にかかわる役割、責任及び権限を与える。

環境マネジメントシステムの管理実行にあたり、必要な経営資源(人的資源、専門的な技能、インフラストラクチャー、技術並びに資金)を確保する。

少なくとも1年に1回定期的に環境マネジメントシステムのレビューを行う。

(2) 環境管理責任者の役割

EA - 21の要求事項に適合したシステムを構築し、実施し、かつ維持されることを確実にすること

環境マネジメントマニュアル及び関連文書等の作成及び見直しをする。  
マネジメントレビューのための情報として、その構築・実施に関する情報を社長に提供する

利害関係者からの苦情、要望等の処理と連絡

法的及びその他の要求事項の集約及び登録を行い、承認する。

当社全体の環境経営目標の素案(変更等の素案を含む)・及び実施計画を集約し、社長の承認を得る。

部署別の環境経営目標、実施計画(部署環境管理改善計画書/報告書)を承認する。

コミュニケーションによる情報を集約保存し、必要に応じて各部署責任者及び社長と協議する

環境関連事故及び緊急事態発生時の報告を受けたときは対応の総指揮をとり、その概要を社長に報告する。

監視測定結果の集計表を作成し、社長に報告する。

環境経営目標並びに法規制及びその他の要求事項との不適合の是正処置の概要について、社長に報告する。

不適合は正処置の結果、必要に応じて環境マネジメントシステムの見直しを実施し、社長に提案する。

環境経営レポートの作成と公表

(3) 各部署の責任者(環境推進委員)の役割等は以下のとおりとする。

部署責任者は、適任者を環境管理責任者が推薦し、社長が任命する。

自己の管理範囲内における実施責任者として、全員参加による環境経営システムの実施及び管理に責務を負い、部門内の必要な人材育成、パフォーマンスの向上を図る  
全体の環境経営目標を達成するために部署の「部署環境管理改善計画書/報告書」を作成し、環境管理責任者の承認を得る。

「部署環境管理改善計画書/報告書」にて実施結果の内容、評価を確認し、環境管理責任者に3か月ごとに記録を提出する。

社外のコミュニケーションの受理及び回答処理を行い、コミュニケーション情報記録を環境管理責任者に提出する。

自部署に係わる委託業務について、必要に応じて関連委託業者に運用手順を伝達する。

環境関連事故及び緊急事態発生時には、対応責任者として処置を行い「緊急事態発生報告書」を環境管理責任者に提出する。

部署において実施可能な場合は緊急事態対応計画の定期訓練を行い、実績を記録し、環境管理責任者に記録書を提出する。

監視・測定手順書を作成する。

監視及び測定の結果を記録し、定期的に環境管理責任者に記録書を提出する。

不適合が生じた又は予測された場合には、原因を調査特定し是正及び予防処置を行い記録し、所属の長等の承認を受け環境管理責任者に提出する。

(5) EA-21 推進事務局

EA-21 推進事務局を置く。その役割は、以下のとおりとする。

環境管理責任者に関わる事務及び業務補佐を行う。

その他環境マネジメントシステムの管理運営に関わる事務を行う。

法的及びその他の要求事項の遵守評価を行う。

常に環境関連法令の制改廃の把握に努め、「環境関連法規制及びその他の要求事項登録表兼遵守状況確認書」の登録、変更が必要なときは、最新情報を環境管理責任者へ「環境関連法規制及びその他の要求事項登録表兼遵守状況確認書」を提出する。

環境教育計画を作成し実施する。

## 2. 環境経営方針

# 環境経営方針

## 基本理念

株式会社亀田清掃は、都市生活の空間の中で人々に限りない潤いをもたらせる「美しい水や緑とのふれあい」をいつまでも守っていくための支えになることを念頭に、廃棄物処理に携わる企業として地域社会はもちろん地球全体の環境負荷低減が事業活動の使命と自覚し「環境保全と持続可能な社会の実現に貢献する」ことを基本理念とします。

## 環境経営方針

株式会社亀田清掃は、一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業務並びに産業廃棄物中間処理業務が主体であることを踏まえて、以下の原則を履行し環境管理活動を行います。

1. 本社事務所及び亀田清掃リサイクルセンター・函館汚泥脱水処理センターの事業活動が環境に与える影響を考慮し、環境汚染の予防に努めると共に環境経営マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 環境経営目標を設定し、社員ひとりひとりが自覚を持って活動に取り組みます。また、環境経営目標は経営における課題とチャンスの変化を捉え定期的に見直しを行います。
3. 当社の事業活動に関わる法規制並びに当社が同意するその他の要求事項を順守すると共に、自らの責任において社会の期待を考慮した行動に努めます。
4. 当社の事業活動において省資源・省エネルギーを推進し、自然エネルギーの有効活用を行います。また、産業廃棄物の中間処理業務においては選別作業の徹底を図り、リサイクル率の向上に努めます。
5. 全社員が環境経営方針を理解し行動ができるように周知徹底を図り、環境管理活動に努めます。

この環境経営方針は、社外一般の求めに応じて公開します。

2021年 4月 1日  
株式会社 亀田清掃  
代表取締役 池田 善徳

### 3. 事業の概要

#### 許可内容

許可内容	許可者	許可年月日	許可の有効年月日	許可番号	事業の範囲
産業廃棄物収集運搬業 (優良)	北海道	平成30年3月12日	令和7年3月11日	00100007685	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、産業廃棄物を処分するために処理したもの。以上、石綿含有産業廃棄物であるもの、水銀使用製品産業廃棄物であるものを含み、ばいじん、燃え殻、汚泥、廃酸、廃アルカリ、鋳さいについては、水銀含有ばいじん等であるものを含む。積替保管なし。
特別管理産業廃棄物収集運搬業(優良)	北海道	平成27年9月10日	令和4年9月9日	00150007685	廃油(揮発油類、灯油類、軽油類)、廃酸(pH2.0以下のもの)、廃アルカリ(pH12.5以上のもの)、特定有害産業廃棄物(廃石綿他)
産業廃棄物処分業	函館市	平成31年2月10日	令和6年2月9日	05223007685	脱水(汚泥(無機性のものに限る。)) 固化(汚泥(無機性のものに限る。)) 破碎(廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器(廃石膏ボードに限る。)) 選別(廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類) 圧縮(廃プラスチック類)
一般廃棄物処理業	函館市	令和2年3月19日	令和4年3月31日	1	
一般廃棄物処理業	北斗市	令和2年2月25日	令和4年3月31日	2-3	
一般廃棄物処理業	七飯町	令和2年3月27日	令和4年3月31日	4	
浄化槽清掃業	函館市	平成20年11月5日	無	2	
浄化槽清掃業	北斗市	令和3年2月24日	令和4年3月31日	3-6	
浄化槽清掃業	七飯町	令和3年3月26日	令和4年3月31日	2	
浄化槽保守点検業	北海道	平成30年10月3日	令和3年12月8日	60-39	
浄化槽保守点検業	函館市	平成30年10月5日	令和3年10月11日	2	
建設業	北海道	令和2年1月17日	令和7年4月13日	渡02669	
函館市企業局指定排水設備工事業者指定書	函館市企業局	平成31年4月1日	令和6年3月31日	平成31年度 217	

## 処理能力

## 1) 収集運搬車両

事業所	種 類		台数
赤川本社	ロードパッカー車	4 t	1台
	ロードパッカー車	6 t	6台
	プレスパッカー車	4 t	3台
	プレスパッカー車	6 t	5台
	ダンプ車(クレーン付)	4 t	1台
	ダンプ車(クレーン付)	5 t	2台
	ダンプ車(クレーン付)	6 t	2台
	ダンプ車	4 t	2台
	キャブオーバー	4 t	1台
	キャブオーバー(クレーン付)	5 t	1台
	ダンプ車(脱着装置付コンテナ専用車)	4 t	1台
	ダンプ車(脱着装置付コンテナ専用車)	10 t	1台
	ダンプ車(脱着装置付コンテナ専用車クレーン付)	7 t	1台
	バキューム車	4 t	1台
	バキューム車	8 t	2台
	汚泥強力吸引車	4 t	1台
	汚泥強力吸引車	6 t	1台
	汚泥強力吸引車	7 t	1台
	汚泥強力吸引車	8 t	1台
	バン(乗用)		2台
函館汚泥脱水処理センター	ダンプ車	11 t	1台
	バックホー	0.7m <sup>3</sup>	1台
	ホイールローダー	1.9m <sup>3</sup>	1台
亀田清掃リサイクルセンター	ダンプ車	11 t	2台
	ミニホイールローダー	0.6m <sup>3</sup>	1台
	ミニバックホー	0.2m <sup>3</sup>	2台
	フォークリフト		1台



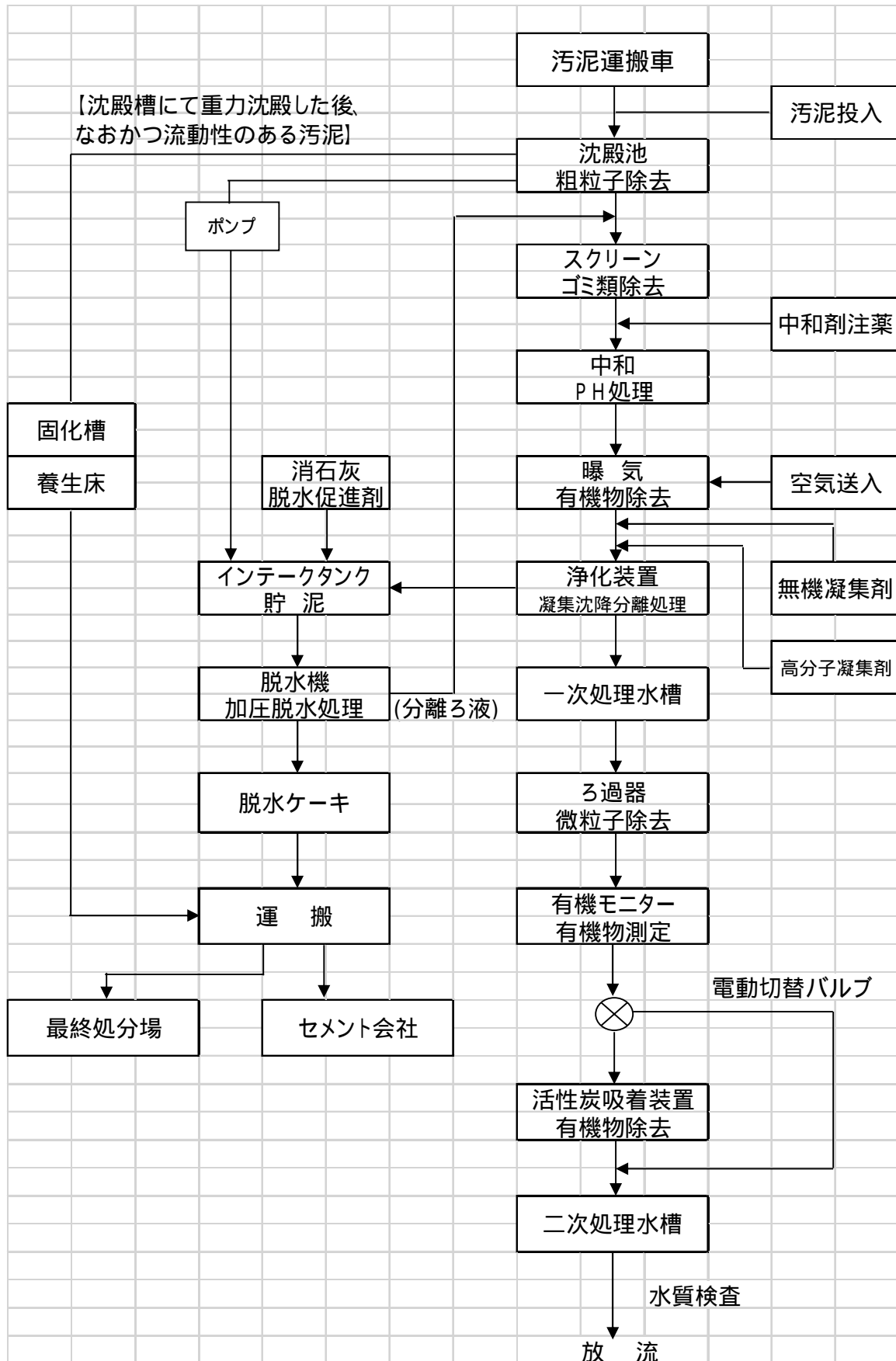
2) 中間処理施設

	施設の種類	処分方法	設置場所	処理能力
施設1	汚泥(無機性のものに限る)の脱水施設	脱水	函館市東山町 121 番 5・40 の内	46 m <sup>3</sup> / 日(8 時間) 5.75 m <sup>3</sup> / 時間
施設2	汚泥(無機性のものに限る)の固化施設	固化	函館市東山町 121 番 5・40 の内	41.28 m <sup>3</sup> / 日
施設3	廃プラスチック類、紙くず、木くずの破碎施設(廃プラスチック類、木くず)	破碎	函館市東山町 121 番 20 の内	8.2t / 日(8 時間) 1.025t / 時間
	廃プラスチック類、紙くず、木くずの破碎施設(紙くず)	破碎	函館市東山町 121 番 20 の内	6.1t / 日(8 時間) 0.762t / 時間
施設4	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードに限る)の破碎施設	破碎	函館市東山町 121 番 20 の内	4.8t / 日(8 時間) 0.6t / 時間
施設5	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の選別施設	選別	函館市東山町 121 番 20 の内	161 m <sup>3</sup> / 日(7 時間) 23 m <sup>3</sup> / 時間
施設6	廃プラスチック類の圧縮施設	圧縮	函館市東山町 121 番 20 の内	4.0t / 日(8 時間) 0.5t / 時間

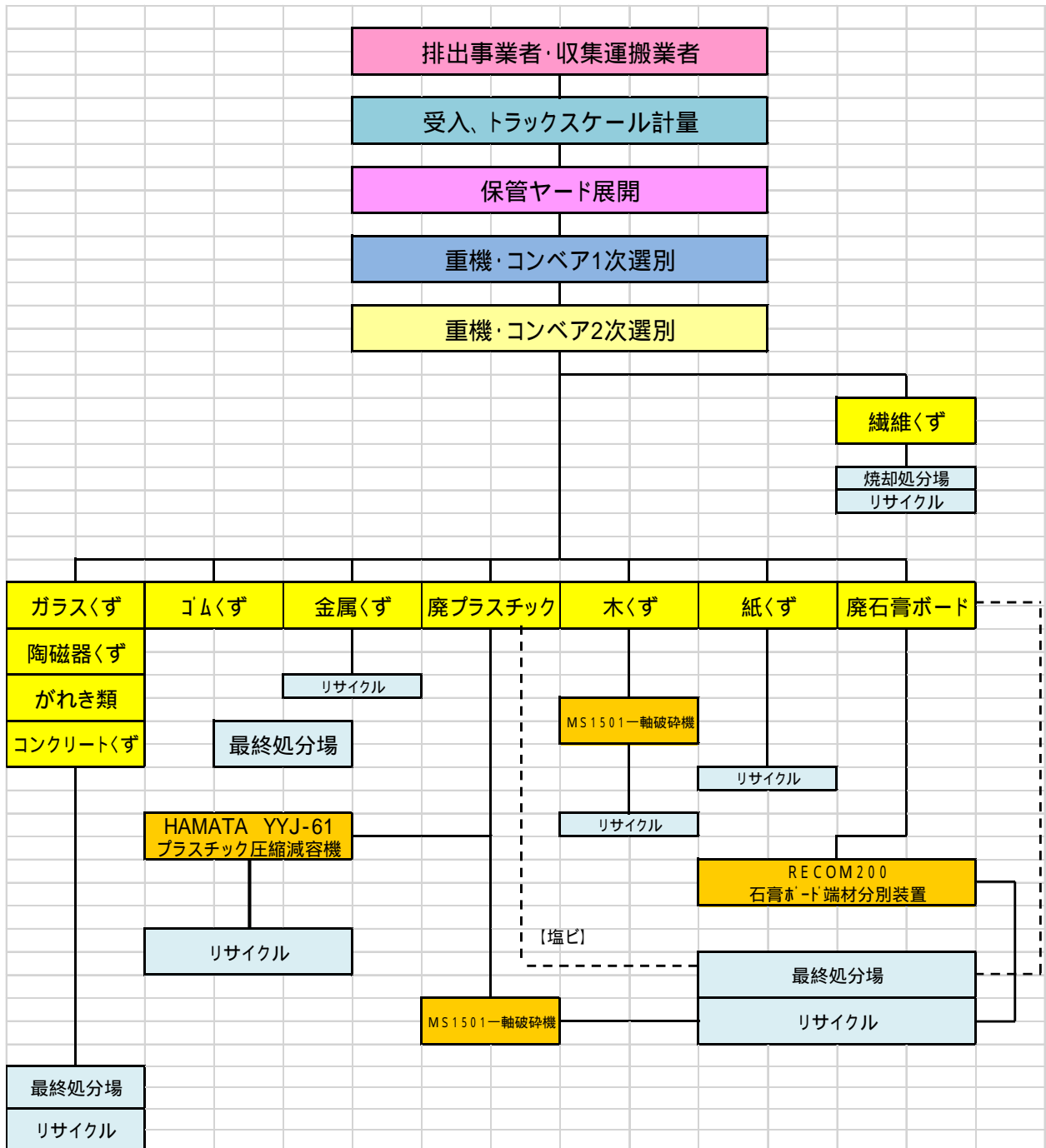
	品名	保管場所面積	最大貯蔵数量
混合廃棄物保管場所	木くず 紙くず 廃プラスチック類 繊維くず 金属くず がれき類等	748.25 m <sup>2</sup>	935.32 m <sup>3</sup>
工場内 (処理後の保管含む)	木くず(破碎) 廃プラスチック類(圧縮) 石膏ボード(破碎)	574 m <sup>2</sup>	161.58 m <sup>3</sup> 9 m <sup>3</sup> 10 m <sup>3</sup>
木くず保管場所	木くず	679.74 m <sup>2</sup>	886.88 m <sup>3</sup>
分別・処理後の保管場所	廃プラスチック類	233.17 m <sup>2</sup>	45.21 m <sup>3</sup>
	紙くず	70 m <sup>2</sup>	87.5 m <sup>3</sup>
	金属くず等	139.99 m <sup>2</sup>	105 m <sup>3</sup>

処理工程図

1) 函館汚泥脱水処理センター



2) 亀田清掃リサイクルセンター



# KAMEDASEISOU EMS REPORT

## 処理実績

### 1) 環境への負荷の状況

環境への負荷		単位	2017年4月 ~2018年3	2018年4月 ~2019年3	2019年4月 ~2020年3	2020年4月 ~2021年3
二酸化炭素排出量		kg-CO	786553	774976	752037	762130
受託した産業廃棄物 処理量	収集運搬量	t	15769	15635	11720	11902
	中間処理量	t	12601	13193	10495	11360
	うち再資源化等量	t	0	0	0	0
	中間処理後処分量	t	8825	11781	8393	9133
	うち再資源化等量	t	5706	7563	4808	5746
廃棄物排出量及び 最終処分量	一般廃棄物循環資源	t	0.64	0.62	0.57	0.56
	中間処理	t	0.64	0.62	0.65	0.61
	産業廃棄物再資源化等	t	5706	7563	4808	5746
	中間処分量	t	14.7	11.3	9.3	6.1
	最終処分量	t	3118	4010	3041	3387
総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	1896	1541	1315	1325
	下水道	m <sup>3</sup>	1673	1649	1400	1510
水使用量	上水	m <sup>3</sup>	3569	3191	2716	2835
化学物質使用量	セメント固化剤(ジオセッ	kg	231000	113000	131000	176000
	粉末ポリ塩化アルミニウ	kg	1140	640	760	560
	消石灰	kg	40	0	0	0
エネルギー使用量	購入電力	MJ	1110633	1001893	1041774	977200
	化石燃料	MJ	10342630	10283398	9909482	10280954
	新エネルギー	MJ	10825	11869	14673	11592
物質使用量	資源使用量	t	232.53	113.93	132.21	176.92

二酸化炭素排出係数(単位:kg-CO / kwh) 2016年度 0.683

		単位	2017年4月 ~2018年3	2018年4月 ~2019年3	2019年4月 ~2020年3	2020年4月 ~2021年3
受託した一般廃棄物 の収集運搬量	ごみ	t	10171	10382	10050	8935
	し尿・浄化槽	t	3376	2869	2840	3156

KAMEDASEISOU EMS REPORT

2) 受託した産業廃棄物の処理量

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t) 2017年4月～ 18年3月	処理量(t) 2018年4月～ 19年3月	処理量(t) 2019年4月～ 20年3月	処理量(t) 2020年4月～ 21年3月	
収集運搬	廃石綿等(特管)		24.11	3.11	0.28	3.30	
	廃油(特管)		4.15	2.49	2.18	3.81	
	強アルカリ(特管)					0.01	
	混合廃棄物(石綿含有)		0.05	2.23	7.40	15.27	
	ガラス・陶磁器くず(石綿含有)			6.57	7.60		
	がれき類(石綿含有)					1.62	
	金属くず(石綿含有)					0.05	
	燃え殻		35.38	17.42	27.44	2.08	
	汚泥		9086.06	9771.60	7423.38	7346.80	
	廃油		21.99	8.84	8.21	10.18	
	廃酸		37.1	32.91	65.88	107.35	
	廃プラスチック類		1150.37	1091.98	565.36	1034.54	
	紙くず		6.84	14.95	33.23	9.49	
	木くず		380.93	242.03	182.16	133.22	
	繊維くず			0.79	0		
	動植物性残渣		2.22	3.27	11.58	18.85	
	金属くず		391.36	371.37	196.58	112.68	
	ガラス・陶磁器くず		582.62	627.79	141.38	118.40	
	がれき類		1812.88	546.79	634.05	426.63	
	混合廃棄物		2230.87	2886.20	2411.56	2554.06	
	廃アルカリ		2.79	5.49	0	1.21	
	ガラス・陶磁器くず(水銀使用)				1.84	1.28	
	鋳さい					1.33	
収集運搬量合計			<b>15769.72</b>	<b>15635.83</b>	<b>11720.09</b>	<b>11902.18</b>	
中間処理	汚泥	脱水・固化	5938.74	6811.06	4005.13	5170.85	
	廃プラスチック類	選別・圧縮・破砕	1478.47	1475.06	1483.87	1509.92	
	紙くず	選別	261.19	279.84	297.45	255.86	
	木くず	選別・破砕	1862.09	1601.37	1450.92	1521.73	
	金属くず	選別	746.83	814.66	592.67	543.08	
	ガラス・陶磁器くず	選別	674.97	963.75	866.25	796.12	
	がれき類	選別	770.46	1030.57	1000.76	820.01	
	廃石膏ボード	選別・破砕	868.45	1247.91	798.94	743.06	
うち 再資源化	再資源化等量小計						
中間処理合計			<b>12601.2</b>	<b>13193.65</b>	<b>10495.99</b>	<b>11360.63</b>	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	汚泥	管理型埋立(委託)	0	17.8	33.00	0
		廃プラスチック類	安定型埋立(委託)	1216.56	1205.84	1011.60	1255.76
		廃石膏ボード	管理型埋立(委託)	690.27	1004.50	798.94	603.20
		繊維くず	安定型埋立(委託)	0	0	0	
		ガラス・陶磁器くず	安定型埋立(委託)	672.77	958.99	866.25	796.12
		がれき類	安定型埋立(委託)	538.91	1030.57	875.76	732.69
	再資源化	汚泥	焼成(委託)	3079.36	4400.30	1869.70	3000.46
		廃プラスチック類	再生(委託)	186.84	278.06	472.27	253.86
		紙くず	再生・焼却(委託)	212.23	282.05	297.45	255.86
		木くず	燃料(委託)	1527.10	1608.54	1450.92	1580.05
		金属くず	再生(委託)	467.31	782.98	592.67	568.61
		ガラス・陶磁器くず	再生(委託)	2.20	4.75	0	
がれき類	再生(委託)	231.55	207.14	125.00	87.32		
再資源化等量小計			<b>5706.59</b>	<b>7563.82</b>	<b>4808.01</b>	<b>5746.16</b>	
中間処理後処分量合計			<b>6518.02</b>	<b>11781.52</b>	<b>8393.56</b>	<b>9133.93</b>	

## 4. 環境経営目標

環境目的 (施策内容)	部署名 (関連部署)	環境目標 2020年度
スマートドライブの徹底による二酸化炭素排出量の削減 (収集運搬車・バックホー・タイヤショベルの運転等)	許可事業部	2017～2019年度の平均燃費実績軽油3.6km/ ガソリン14.54 km/ を下回らない
	下水道事業部	2017～2019年度の平均燃費実績2.28 km/ を下回らない
	汚泥処理センター	2018年11月～2020年10月燃費実績把握(車両入替のため)
	リサイクルセンター	軽油2018～2019年7月までの平均燃費推計値2.60 km/ を下回らない ガソリン2017年10月～2018年9月までの平均燃費実績7.42 km/ を下回らない
温度管理の徹底による二酸化炭素排出量の削減 (暖房機・温水ボイラー・洗車ボイラー等)	許可事業部 下水道事業部 総務・営業部	2017～2019年度の灯油平均使用実績8672 を上回らない
	汚泥処理センター	2016～2018年度の灯油平均使用実績2758.3 を上回らない
	リサイクルセンター	2017～2019年度の灯油平均使用実績900 を上回らない
電力使用管理の徹底による二酸化炭素排出量の削減 (PC・コピー機・エアコン・照明等)	許可事業部 下水道事業部 総務・営業部	2019年度の使用実績13108kwhを上回らない
水道水使用量の削減	許可事業部 下水道事業部 総務・営業部	2017～2019年度の平均使用実績1329m <sup>3</sup> の2%削減
	リサイクルセンター	水道使用量250m <sup>3</sup> を上回らない
受入混合廃棄物のリサイクル率の向上による埋立処分廃棄物の削減	リサイクルセンター	2013～2015年度のリサイクル率平均実績 43.34% の1.5%向上
無理・無駄のない収集路線の確立による二酸化炭素排出量の削減 (収集運搬車)	許可事業部	2018年度の走行距離実績の1%削減 554059km
固化剤添加率低減による化学物質使用量の削減	汚泥処理センター	2016～2018年度の平均固化剤使用実績0.11/ m <sup>3</sup> (添加率)を上回らない
紙使用量の削減	総務・営業部	基準値設定のため使用実績の把握
一般廃棄物の適正処理によるゴミ排出量の削減	許可事業部 下水道事業部	2017～2019年度の平均可燃物排出量189kgを上回らない
	総務・営業部	可燃ゴミのうち紙くずの排出量が50%を下回らない
	リサイクルセンター	2017～2019年度の平均可燃物排出量170kgを上回らない

5. 中期環境経営目標

環境経営目的	部署名 (関連部署)	環境経営目標		
		2021年度	2022年度	2023年度
軽油の使用による二酸化炭素排出量の削減 (収集運搬車・バックホー・タイヤショベルの運転等)	許可事業部 下水道事業部 汚泥処理センター リサイクルセンター	2019年度の軽油使用実績の0.5%削減	2019年度の軽油使用実績の1%削減	2019年度の軽油使用実績の1.5%削減
灯油の使用による二酸化炭素排出量の削減 (暖房機・温水ボイラー・洗車ボイラー等)	全部署	2019年度の灯油使用実績の0.5%削減	2019年度の灯油使用実績の1%削減	2019年度の灯油使用実績の1.5%削減
電気の使用による二酸化炭素排出量の削減 (PC・コピー機・エアコン・照明等)	許可事業部 下水道事業部 総務・営業部	2020年度の使用実績の1%削減	2020年度の使用実績の2%削減	2020年度の使用実績の3%削減
水道水使用量の削減	許可事業部 下水道事業部 総務・営業部	2019年度の使用実績を上回らない(25mm)	2019年度の使用実績を上回らない(25mm)	2019年度の使用実績を上回らない(25mm)
	下水道事業部	2019年度の使用実績を上回らない(50mm)	2019年度の使用実績を上回らない(50mm)	2019年度の使用実績を上回らない(50mm)
	リサイクルセンター	2019年度の使用実績を上回らない	2019年度の使用実績を上回らない	2019年度の使用実績を上回らない
受入混合廃棄物のリサイクル率の向上による最終処分廃棄物の削減	リサイクルセンター	リサイクル率平均実績 44.4%の1%向上	リサイクル率平均実績 44.4%の1.5%向上	リサイクル率平均実績 44.4%の2%向上
固化剤添加率低減による化学物質使用量の削減	汚泥処理センター	固化剤添加率 0.11t/m <sup>3</sup> を上回らない	固化剤添加率 0.11t/m <sup>3</sup> を上回らない	固化剤添加率 0.11t/m <sup>3</sup> を上回らない
紙使用量の削減	総務・営業部	2020年度の使用実績の0.3%削減	2020年度の使用実績の0.5%削減	2020年度の使用実績の0.8%削減
一般廃棄物の適正処理によるゴミ排出量の削減	許可事業部 下水道事業部 リサイクルセンター	2020年度の可燃物排出量の0.5%削減	2020年度の可燃物排出量の1%削減	2020年度の可燃物排出量の1.5%削減
	総務・営業部	可燃ゴミのうち紙くずの排出量が50%を下回らない	可燃ゴミのうち紙くずの排出量が50%を下回らない	可燃ゴミのうち紙くずの排出量が50%を下回らない

二酸化炭素排出量 (kg-CO)	2017年4月～ 2018年3月	2018年4月～ 2019年3月	2019年4月～ 2020年3月	2020年4月～ 2021年3月
	786553	774976	752037	762130

## 6. 2020年度環境活動(2020年4月～2021年3月)取組の評価

環境目的	環境目標	運用管理項目	実施状況 よくできた ○まあまあできた あまりできなかった
スマートドライブの徹底による二酸化炭素排出量の削減(ガソリン・軽油)	2017～2019年度の平均燃費実績を下回らない	アイドリングストップ	
		経済速度での走行	
		無駄な荷物は積まない	
		無駄な空ぶかしをやめる	
		急発進・急加速・急ブレーキをやめる	
		暖気運転の短縮	○
		エアコンの使用を控えるにする	○
		車両整備	
		早めのタイヤチェンジ	○
温度管理の徹底による二酸化炭素排出量の削減(灯油)	2017～2019年度の灯油平均使用実績を上回らない	ボイラーの温度管理等の徹底	○
		お湯の止め忘れ防止	○
電力使用管理の徹底による二酸化炭素排出量の削減	2019年度の使用実績を上回らない	照明、空調の消し忘れ防止	
		OA機器等の電源管理の徹底	
		冷房の温度管理(28℃)	
水道水使用量の削減	2017～2019年度の平均使用実績 2%削減 リサイクル:250m <sup>3</sup> を上回らない	洗濯時の水使用量管理	
		洗車、レンタル品清掃時の水使用量管理	
受入混合廃棄物のリサイクル率の向上による埋立処分廃棄物の削減	2013～2015年度のリサイクル率平均実績の1.5%向上	混合廃棄物の分別作業の徹底	○
		選別作業責任者による選別状況の確認	○
無理・無駄のない収集路線の確立による二酸化炭素排出量の削減(収集運搬車)	2018年度の走行距離実績の1%削減	現場作業員同士の連絡を密にとる	
		取残しをなくす	○
		現場でのお客様とコミュニケーションをとる	○
		無駄な車両を止め敷地内作業をする	○
固化剤添加率低減による化学物質使用量の削減	2016～2018年度の平均固化剤使用実績を上回らない	沈殿槽での沈殿時間の延伸による水切り作業	
		固化剤の添加量を抑え養生時間の調査	
		脱水可能汚泥の機械脱水による脱水の徹底	
		固化剤の添加量抑制のための小分け使用	
紙使用量の削減	基準値設定のため使用実績の把握	事務所内主機器2台の月毎の使用量を記録	
		裏紙の使用促進	
		ペーパーレス推進	
一般廃棄物の適正処理によるゴミ排出量の削減	2017～2019年度の平均可燃物排出量を上回らない 総務:可燃ゴミのうち紙くずの排出量が50%を下回らない	分別の徹底	
		喫食ゴミの適正排出	
		紙くずのリサイクル排出	
		廃棄物管理票への記入	



## 7. 取組の結果と次年度取組

取組の結果 (達成状況はマネジメントレビュー参照)	次年度取組
1. 二酸化炭素排出量の削減として、軽油・ガソリン・灯油及び電力の使用管理を実施しました。概ね、目標は達成されましたが数値目標については見直しが必要と思われました。	環境経営目標の見直しを実施し、新たに単年度及び中期目標を策定し取り組みます。
2. 廃棄物排出量の削減として、一般廃棄物の適正処理による排出量削減に取り組みましたが、可燃ゴミの排出量が増えて目標達成されませんでした。コロナ禍でペーパータオルの使用が原因でした。また、可燃ゴミのうち紙くずの排出量が50%を下回らない活動を実施したことが良い結果でした。	運用管理項目に変更はありませんが、ペーパータオルの使用実績を把握し、継続して一般廃棄物の削減に取り組みます。
3. 水道水使用量の削減として、節水活動等適切に取り組んだ結果、前年度目標値未達成であった本社での使用量が計画通り目標達成されました。	今後も節水に努め、水資源の有効活用を継続して行います。
4. 汚泥脱水及び固化処理に使用されている化学物質については、適正に管理され、受入汚泥量に見合った使用量に抑えられています。	継続して取り組み、使用量の削減及びコスト削減に努めます。
5. 廃棄物の収集運搬においては無理無駄のない収集路線の確立により、走行距離の削減に努めました。また、リサイクルセンターでは受入混合廃棄物のリサイクル率向上に取り組み、サービスの改善及び環境に配慮した活動を行いました。	無理無駄のない収集路線の確立は目標とはせず、通常業務として継続して取り組みます。また、リサイクル率の向上については継続して経営目標として改善しながら取り組みます。

## 8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

「環境関連法規制及びその他の要求事項登録表兼順守状況確認書」により、先ず各部署長が順守状況を確認・評価を行い、次に事務局が各部署長立会のもと、見直しを行った結果、環境関連法規に違反のないことを確認しました。また、外部からの訴訟もないことを確認しました。

## 9. マネジメントレビューの結果

実施日	2021年 5月28日(金)	場所	1F 詰所	
出席者	社長、環境管理責任者、事務局、部署長			
見直し 関連情報	情報項目	情報内容・資料等		
	法的及び当社が同意するその他の要求事項順守結果	2020年11月～12月順守状況の評価を各適用部署長に実施を指示し2021年1月20日事務局が最終チェックの結果、順守されている事を確認しました。また、新たに登録された法的及びその他の要求事項はありませんでした。		
	社長による	見直し	特になし	
		指示	特になし	
	苦情を含む社外からのコミュニケーション	社外コミュニケーション対応記録書全11件受付、内2件苦情として不適合是正予防処置記録書にて対応し、同様の苦情のないことを環境管理責任者が確認しました。		
	社長による	見直し	特になし	
指示		特になし		

環境経営目標 の達成状況	全部署共通取組項目			
	ガソリン・軽油・灯油 各使用量管理による二酸化炭素排出量削減、水道使用量削減、一般廃棄物排出量削減			
	ガソリン・軽油			
		目標値	実績	達成率
	許可(軽)	3.6 km/ を下回らない	3.61 km/	100.2%
	許可(ガ)	14.54 km/ を下回らない	14.45 km/	99.3%
	下水	2.28 km/ を下回らない	2.56 km/	112.2%
	汚泥	2.60 km/ を下回らない(2020年11月~)	2.61 km/	100.3%
リサイクル(軽)	2.6 km/ を下回らない	3.05 km/	117.3%	
リサイクル(ガ)	7.42 km/ を下回らない	8.05 km/	108.4%	
社長による	見直し	特になし		
	指示	特になし		
	灯油			
		目標値	実績	達成率
	赤川本社	8672 を上回らない	8939.3	97.0%
	汚泥	2758.3 を上回らない	2351.4	117.3%
リサイクル	900 を上回らない	811.7	110.8%	
社長による	見直し	特になし(赤川本社分は残業のため)		
	指示	特になし		
	● 水道水使用量の削減			
		目標値	実績	達成率
	赤川本社	1329 m <sup>3</sup> の2%削減 26.58 m <sup>3</sup>	1302 m <sup>3</sup>	102%
	リサイクル	250 m <sup>3</sup> を上回らない	146 m <sup>3</sup>	171.2%
社長による	見直し	特になし		
	指示	特になし		
	● ゴミ排出量の削減(可燃)			
		目標値	実績	達成率
	許可・下水	189 kgを上回らない	241.2 kg	78.3%
	総務	紙くずの排出量が50%を下回らない	62.6%	125.2%
リサイクル	170 kgを上回らない	117 kg	145.2%	
社長による	見直し	特になし		
	指示	特になし		

		<p><b>各部署独自の取組項目</b></p> <p>電力の使用量削減については、本社のみ取組とし汚泥及びリサイクル各処理施設においては受入量に左右されるため電気使用量と処分量をチェックし無駄のないよう管理しています。</p> <p>電気</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤川本社</td> <td>13108kwhを上回らない</td> <td>13750kwh</td> <td>95.3%</td> </tr> </tbody> </table>		目標値	実績	達成率	赤川本社	13108kwhを上回らない	13750kwh	95.3%
	目標値	実績	達成率							
赤川本社	13108kwhを上回らない	13750kwh	95.3%							
社長による	見直し	特になし（本社分は残業のため）								
	指示	特になし								
		<p><b>【許可事業部】</b></p> <p>無理・無駄のない収集路線の確立 （走行距離短縮による二酸化炭素排出量削減）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>走行距離実績の1%削減 554059 km</td> <td>531799 km</td> <td>104.2%</td> </tr> </tbody> </table>	目標値	実績	達成率	走行距離実績の1%削減 554059 km	531799 km	104.2%		
目標値	実績	達成率								
走行距離実績の1%削減 554059 km	531799 km	104.2%								
社長による	見直し	特になし								
	指示	特になし								
		<p><b>【汚泥脱水処理センター】</b></p> <p>化学物質使用量の削減（セメント系固化剤ジオセット）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>添加率 0.11 t/m<sup>3</sup>を上回らない</td> <td>0.105t/m<sup>3</sup></td> <td>104.7%</td> </tr> </tbody> </table>	目標値	実績	達成率	添加率 0.11 t/m <sup>3</sup> を上回らない	0.105t/m <sup>3</sup>	104.7%		
目標値	実績	達成率								
添加率 0.11 t/m <sup>3</sup> を上回らない	0.105t/m <sup>3</sup>	104.7%								
社長による	見直し	特になし								
	指示	特になし								
		<p><b>【リサイクルセンター】</b></p> <p>リサイクル率の向上による埋立処分廃棄物の削減</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>44.4%（2020年8月～）</td> <td>44.9%</td> <td>101.1%</td> </tr> </tbody> </table>	目標値	実績	達成率	44.4%（2020年8月～）	44.9%	101.1%		
目標値	実績	達成率								
44.4%（2020年8月～）	44.9%	101.1%								
社長による	見直し	特になし								
	指示	特になし								
		<p><b>その他環境管理活動</b></p> <p><b>【許可事業部】</b></p> <p>洗車場及び分別作業場排水管理 灯油タンク油漏れチェック 計画通り実施、問題はありませんでした</p> <p><b>【汚泥センター】</b></p> <p>灯油タンク軽油タンク油漏れチェック 油漏れはありませんでした 電力使用量の管理 脱水機稼働時間の把握と処理量のチェックを実施し適切に管理を行いました</p>								

		<p>【リサイクルセンター】 灯油タンク油漏れチェック 油漏れはありませんでした 電力使用量の管理 動力使用時間当たりの中間処理量の測定及び処理状況のチェックを実施し無駄のないよう管理を行いました</p> <p>【総務営業部】 ソーラーパネル利用エネルギーの測定 太陽光発電量 3220kwh 売電量 449kwh でした</p>
社長による	見直し	ソーラーパネルの破損有り
	指示	修理が必要では
	環境経営計画の実施及び運用結果	概ね計画通りシステムが運用されていることを確認されましたが、一部の環境経営目標に未達成の項目がありました。次年度へ向け、環境経営目標及び実施計画の見直しを実施して運用します。
社長による	見直し	特になし
	指示	特になし
	環境経営システムの是正・予防処置	苦情による是正・予防処置の記録作成 2 件、環境経営目標未達成による是正・予防処置の作成 4 件でした
社長による	見直し	特になし
	指示	特になし
	前回のフォローアップ及び指示事項に対する対応結果	エコアクション 21 2017 年度版認証取得に向けて、新たな環境経営目標を設定し環境負荷低減に取り組みます
	改善の提案	環境経営レポートの作成・公表をしていますが活用がされていません。各部署において信頼を得るツールとして活用することを提案します。
	外部からの環境に関する苦情及び要望	ありませんでした
社長による見直し事項及び指示	見直し事項	指示事項等
	環境経営方針	新たに改定を行った環境経営方針を運用する
	環境経営目標及び環境経営計画	経営上の課題とチャンスをつかえ、環境経営方針に沿った環境経営目標、環境経営計画の策定をする
	環境に関する実施体制	現状維持とする
社長による取組の総括と指示	概ね目標は達成出来ているので今の努力を続けて行くように。会社としても二酸化炭素の削減のために車両の入れ替え等、積極的に行っていきたい。	
事務局及び部署長対応	エコアクション 21 2017 年度版認証取得へ向け、経営上の課題とチャンスをつかえ、環境経営活動の向上に努めます。	